【第三種郵便物認可】

子育て 2015

祖父母の協力 官民後押し

首都圏、少子化対策に力

共働きの子育て世帯の増加を背景に、祖父母向けに「孫育て」を後押しする動きが首都圏で広がってきた。高齢者が使いやすい育児グッズを商品化する企業や、育児支援冊子を作成する自治体など、官民挙げて担い手の育成に力を入れている。祖父母の協力を得られる子育て世帯が増えれば、出生率が低い首都圏の少子化対策につながる効果も期待できそうだ。

子育てグッズを製造・販売するシゴトラボ合同会社（さいたま市）は芝浦工業大学と共同で、高齢者が使いやすい哺乳瓶を開発する。哺乳瓶の容量の目盛りを老眼でも見やすいように、既存製品より大きくするほか、瓶も手首に負担がかかりにくい形状にする。今秋をメドに発売する予定だ。

同社は高齢者が使いやすい乳幼児の抱っこ布団や、祖父母と孫がおそろいで着られる衣料品なども取り扱っている。「カムリエになぞらえて「ソフリエ」の認定書を交付。東京都内では認定書の取得者は約90人に上る。「働く娘に子どもが生まれたのを機に参加する人が目立つ」（古久保俊嗣代表）という。

受講者にはワインのソムリエになぞらえて「ソフリエ」の認定書を交付。東京都内では認定書の取得者は約90人に上る。「働く娘に子どもが生まれたのを機に参加する人が目立つ」（古久保俊嗣代表）という。

自治体も孫育ての啓発に力を入れている。横浜市は孫育てを推進するための冊子「地域と家族の孫まご応援ブック」を2015年度中に改訂する。12年度に作成した現行版では育児支援について「子育て方針を聞こう」「必要以上に口出ししない」などと心得を紹介しており、改訂版ではこうした内容を拡充する。区役所や地域子育て支援拠点で無料配布する予定だ。

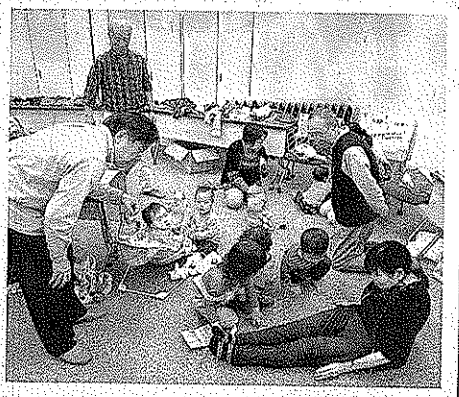
千葉市若葉区は子育て世帯の定住促進に向けた施策の提言集に、孫育て世代への商品券の配布を盛り込んだ。高齢者に孫育てを奨励するため、商店街や美容室などで利用できる商品券を提供するというアイデアだ。孫育て中の祖父母を対象にしたサークルを立ち上げる構想も掲げている。

エガリテ大手前

乳幼児抱き方講座

千葉市若葉区

商品券配布を提言



孫育て講座では子どもとの遊び方などを学ぶ（東京都墨田区）

東京

日本経済新聞
2015年5月28日
（朝刊）